

NEWS RELEASE



一般社団法人 日本自動車会議所
Automobile Business & Culture Association of Japan

2025年11月17日

モータースポーツを通じた日米自動車文化交流イベントを実施

-約4万人の観衆が北米モータースポーツ文化を体感-

一般社団法人 日本自動車会議所は、11月15日～16日に、富士スピードウェイにて、日米自動車文化交流を目的とした企画として、北米モータースポーツ文化の象徴であるNASCARを招聘したイベントを実施いたしました。



車両を前に整列する（左から）大湯都史樹選手、古賀琢磨選手、John Hunter Nemechek選手、ジョージ・グラス駐日大使夫妻、

日本自動車会議所 豊田章男会長、Jimmie Johnson選手、小林可夢偉選手、小高一斗選手

本活動は趣旨に賛同頂いた一般財団法人トヨタ・モビリティ基金の支援を受け、豊かなモビリティ社会の実現のために実施いたしました。

USA モータースポーツ文化紹介デモラン “NASCAR Showrun”

現役の NASCAR CUP Series 参戦車両を含む北米モータースポーツ車両 6 台によるデモランを実施いたしました。デモランに先立ち、米国を代表するピックアップトラックの“フォード F-150”を運転し登場した、当会議所の豊田会長は「(この企画は) アメリカの NASCAR チーム・オーナーの方、参加者の方、何よりグラス大使ご夫妻、みなさんの協力で成し得ました。このような瞬間に立ち会えることを本当にありがとうございます」と感謝を伝えるとともに、「NASCAR の音と迫力を楽しんでください！」と観客に呼びかけました。

同じく F-150 に同乗していた米国のジョージ・グラス駐日大使は、「本当にワクワクしています。富士スピードウェイに来ることができ、大変光栄です。(コース上に並ぶ車両と国旗を振る観客の姿を見て) まるでアメリカに帰ってきたように思っています」と語りました。

2 人の「Start your engines！」の合図により一斉に 6 台の車両にエンジンがかかり、グラス駐日大使と豊田会長の先導により、Jimmie Johnson 選手、John Hunter Nemechek 選手、小林可夢偉選手、古賀琢磨選手、小高一斗選手、大湯都史樹選手によるパレードランを実施。大迫力のエンジンサウンドと匂いを沢山のお客様へ届けながら走行を実施いたしました。

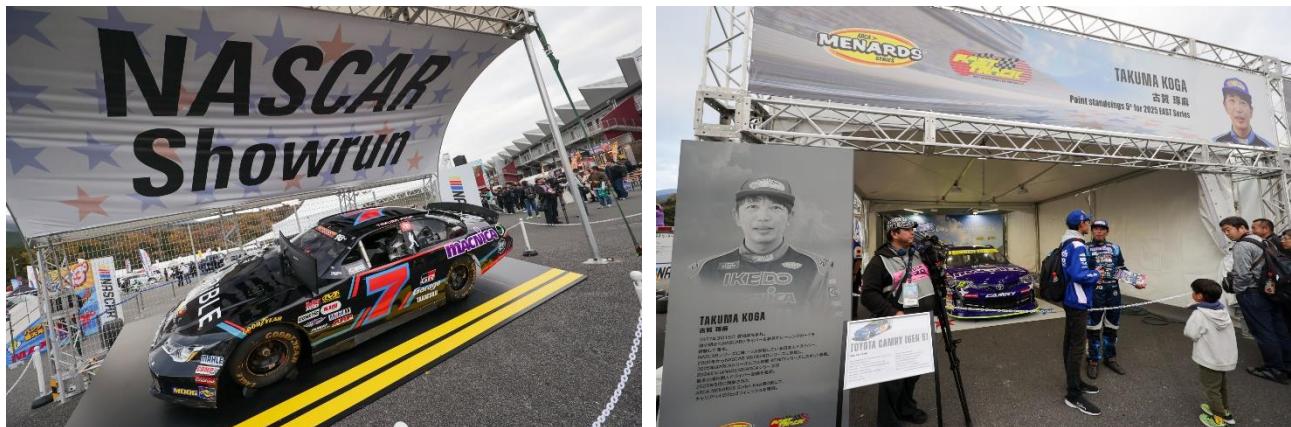


北米モータースポーツ車両 6 台によるデモラン “NASCAR Showrun”

レジェンドドライバーである Jimmie Johnson 選手は「NASCAR でこの富士スピードウェイを走行できたのは、非常に名誉なことです」と自身の走行を振り返り、過去 NASCAR CUP SERIES に参戦した経験もある小林可夢偉選手は「アメリカの文化である NASCAR を日本に持つて来ることができ、そういう文化交流を通じて、もっと楽しいモータースポーツの未来を創れたら嬉しいです」と期待を述べました。

USA モータースポーツ文化紹介ブース

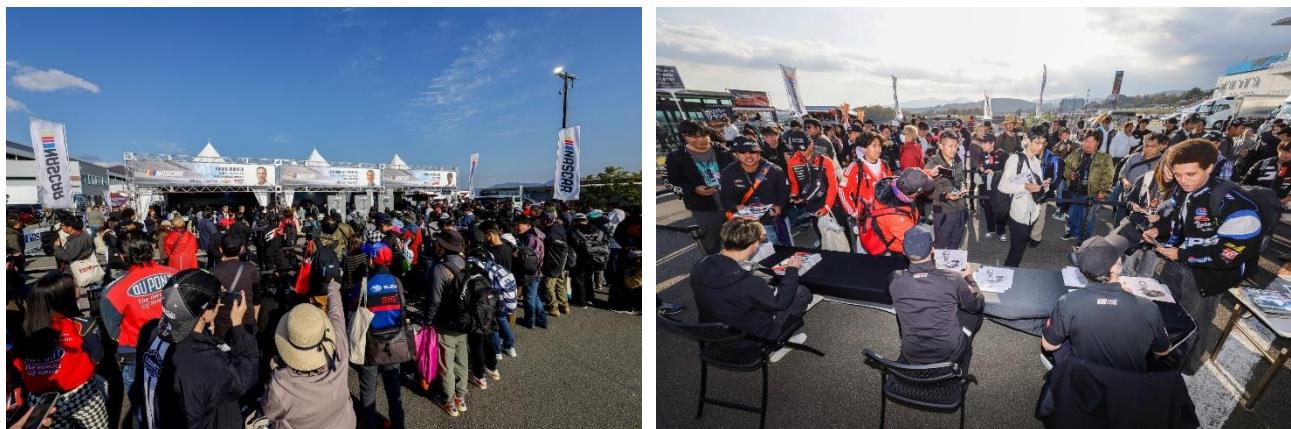
イベント広場および A パドックにて北米モータースポーツ車両の展示・体験ブースを設置し、沢山のお客様にコース上で繰り広げられた大迫力のデモランに使用された車両やチームに触れて、モータースポーツ文化を感じていただきました。



イベント広場での車両展示および体験ブース

イベント広場の車両展示では、タイヤ交換等の車両整備の様子を沢山のお客様に見ていただき、古賀琢麻選手はじめドライバーによる説明やファンサービスにも目を輝かせた様子でした。また、北米サーキットのバンク角を模したエリアでは、お子様含む沢山のお客様が北米ストックカーレースならではの急勾配を実際に体感していただきました。

A パドックでは、NASCAR CUP Car および Garage56 車両の整備ピットの公開を行い、選手たちやチームとも交流を行っていただきました。オートグラフセッションでは Jimmie Johnson 選手はじめレジェンドドライバーたちとのまたとない機会に長蛇の列を作っていました。



A パドックでの車両整備ピット公開およびオートグラフセッションの様子

参加者の声

本イベントは、当会議所の掲げる「クルマをニッポンの文化に！」の一環として、モータースポーツ文化の原体験を通じて自動車産業やモータースポーツ業界へのあこがれを醸成し、次の世代を担う業界人材を希望するきっかけにしていただきたいとの思いから、子供たちを本企画に招待いたしました。

参加者からは、以下のような声もいただきました。

(小学生) : 「大きな音は元々苦手だったけど、モータースポーツの音は好きになった」

(高校生) : 「普段経験することの無い体験ができた。テレビと違って生の音や匂いを体全体で感じることができて楽しかった」

なお、本イベントの一部である北米モータースポーツ車両 6 台によるデモラン “NASCAR Showrun” の様子については、一般社団法人スーパー耐久未来機構の運営するスーパー耐久公式 YouTube チャンネル “S 耐 TV” のアーカイブがございます。是非ご覧ください。

ライブ配信アーカイブ : <https://youtube.com/live/1B-wFsJ976M>

S 耐 TV 公式チャンネル : https://www.youtube.com/channel/UC8sfQKfk_4_JePSHSupvT4w